

先生の医療に対する信念に感動しました。
考えさせられる内容の濃い講演をありがとうございました。
病理の見方、患者さんへの対応の仕方のお話はとても興味深く勉強になりました。
本気で医療に取り組む大変さ、その尊さを教えて下さった先生に感謝の念を表したい。
無理はするもので、もっとより良い医師になれるように努力すべきだと考えさせられました。
医師になる事はゴールだと思っていたけど、医師になってからどう生きるかが大事なんだと思った。
このようなお話しを聞ける機会はほとんどないので、本当に貴重だなという思いで聞かせて頂きました。
すごくためになる講演であった。医学というのは、一歩自分で踏み出す勇気と精神論がすごく大切であると感じた。
わざわざこれだけの時間を割いてまで我々に講義をして下さって感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。
自分を奮起させるような言葉や教訓を沢山聞くことが出来て良かった。いかに自分の現状が甘やかされているか、自分が甘えているかを実感した。
今回の講義は、大変興味深く考えさせられることが多かった。自分は今、医学部1年生で今後について悩んでいることが多いが、様々な言葉をもらい勇気付けられた。今後、めげずに努力して結果を出して行ければと思う。
医師としてだけでなく、人間としての生き方についても考えさせられる講演で、とても心が動かされました。私も先生のように自ら行動を起こして行く人になりたいです。そのために何かできるか考えて行こうと思いました。ありがとうございました。
学校の勉強ができる事と良い医師になる事は違うと聞き、ハッとさせられました。たくさんの「知識」を吸収するのが楽しいと思ってやってきたので、社会に出てから自分の「知恵」を外に出して行く立場に切り替えられるのかと不安になりました。
ただ身に付けた覚えた知識ではなく活用できる知識にしていくには、教科書・マニュアルに従うのではなく自ら追及して、実生活につながる知識に変化させないといけないと思いました。この講義は「自分で考える」ことが大事であり、意義がそこにあると思いました。
印象に残ったのは、「普通」とか「頑張りすぎない」姿勢で医師になって良いはずがないということ。正直、念願の医学科に入学して、大学にも慣れ始めて、まだ将来のことはぼんやりとしか考えていなかった。でも、私は「自分にしかできないこと」や「自分はこれをやる」といった核・信念を持って、職務を全うする覚悟を持たねばならないと知った。易きに流れてはいけない、ということだろう。
全体的にインパクトのあるお話で、今回拝聴させて頂けて良かったです。患者さんのために身を削って行動できることに対して、心の底から尊敬の念を感じています。患者のために働くのが医師、それは当然のことですが、様々な困難を前にして、果たして自分に甘くならず、患者のためだけに必死で何十年も働けるのか、先生の話聞いて不安になると同時に、やるしかないという気持ちになりました。
気楽に聞く事ができましたが、難しい授業よりもよほどスツと頭の中に入ってきましたし、考え、納得することができる講演でした。実際に病院で働く先生の講演を聞く事ができ、とても良い経験になりました。答えが必ずある受験勉強ばかり今までしてきたので、マニュアルを求めるだけではないいけないこの先の将来に少しの不安を持ちました。そして、覚悟がいるのだということも実感しました。今は“準備中”の期間だと信じて、努力を続けていきたいと思いました。
実際に先生の成し遂げたことや患者さんについての話を交えて、どのような医師になるべきか、どのように勉強して行くべきか、自分で考える事が出来た。医学部に入るまでは知識を詰め込むだけの勉強ばかりしていた。しかし、これから患者さんのために良い医師になるためにはそのような勉強法では駄目なのだということを実感できた。学校で得た知識を活かして自分で考え、どのようなことができるのかということ、これから常に心に置いて医学の勉強に励みたいと感じた。
多くの皮膚科の症例や医療についてのお話と精神的な面などの人間についてのお話をありがとうございました。精神的な面のお話では、医療以外の分野からの様々な言葉を聞く事ができてよかったです。どの言葉もそうだなあと感じたり、最近努力や頑張りについて考えていたので、より考えさせられました。まだ今は医学について分からない事しかありませんが、正しい努力を続けて、何かあっても簡単に諦めず、将来もし臨床についたら、この講演でのお話しを思い返し、いい医師になりたいと思いました。
今日は貴重なお話をありがとうございました。もっと「強く」なることが医師になるためには必要だと思いました。現実には困難な状況の中、日々患者さんのため世の中の為に働いていらっしゃる先生のお話を聞くことが出来て、すごくためになりました。きれい事を話す大人は沢山いますが、岸本先生は単なるきれい事ではなく、自信の経験に基づいたお話を下さったので、とても説得力がありました。私は、これまで自分は辛い人生を送っているな、などと甘えた考えを持っていたので、このままではダメだな、と考えました。
ここ一年で聞いた講演の中で一番印象に残った講演でした。弱さを捨てて強く生きていくことは非常に難しいことだと思います。日々の困難、労働や恐怖に向き合っていくためには医師としての技術や知識も大切ですが、それを実践できる能力や安定性を保つための人間学や哲学を学ぶことも重要だと思いました。岸本先生の講演、非常に良かったです。スクリーンに表れて読み上げられる言葉一つ一つに鳥肌が立ちました。これからは多くの人に先生の強い言葉を伝えて行きたいと思いました。ありがとうございました。
現在、医師を目指す自分にとって非常にハッとするような言葉が多かったです。座学で学ぶ知識を覚えることばかりに集中しがちでしたが、それをアウトプットして実践していく力が大切であると実感しました。人が決めたガイドライン自体は、過去の英知を元に作られたもので完全に否定する気はありませんが、受動的になり責任から逃れるように生きて行くのはやはり良くないことであると思いました。気概、信念、そして実力をつけて行かねばと思いました。患者さんの為ということ常々心に置いてこれからの勉学に励んでいく所存です。

患者さんの病気を適切に判断するには「推理力」「洞察力」「直観力」「判断力」など、総合的な能力、人間力が必要だと思った。のほほんとして過ごしがちで、医師となった自分、医師として奮闘している自分が遠くのものになっていました。でも今日先生の実践的なお話を聞いて良かったです。自分の知識を活かすことはとても大変だと痛感しています。テストで問いに対し答える事はある意味簡単なことです。でも日常的に知識を使って何かを解決したり、手助けすることはあまりありません。使える知識、使える技術を養い、それにプラスして人間的に成長していきたい。